



〔蔵王鉱山歴史資料館建設図〕

わが母校 … 中川第二小学校の縮小設計。建設地も昔と同じ場所。池もそのまんまある。

ここに蔵王鉱山にかかわる多くの歴史的資料を展示。

製錬場はイベント広場として整備され、蔵王ラインとエコラインが開通。

よみがえる蔵王鉱山は蔵王観光のシンボルとなる。

設計：小松正和建築設計工房

蔵王通信

硫黄

創刊号

発行
NPO 法人 蔵王鉱山の歴史を語り継ぐ会
山形県上山市蔵王字蔵王山 2843-1
発行責任者 川口 兼次
TEL.023-679-2211 FAX.679-2606

印刷所
有限会社 東洋企画印刷
山形県上山市四谷 2-1-46
TEL.023-673-1648 FAX.673-1646

なぜ？法人化か！

【特定非営利活動法人】
NPO 法人のメリット！

◆社会的信用が高まる

従来のような任意の団体では相手方の対応や受け取り方が違ってくると思えます。とくに金銭の授受がかわる場合、「社会的信用の増加」が求められると思います。

◆法人名による契約や登記ができる

任意団体の場合、団体名では契約や登記ができないので代表者の個人名で契約や登記することになってしまい代表者が代わるたびに契約や登記を変更するといふ不都合があったのですが法人の場合、団体自身が権利の主体となるので不都合が解消されます。

◆事業委託や補助金が受けやすくなる

行政からの事業の委託や補助金は、対象者を法人に限定していることが多いので法人化によってこれらの行為が受けやすくなると思われまます。

◆寄付金が集めやすくなる
非営利・公益目的であることが明らかなので、寄付金が集めやすくなると思えます。当蔵王鉱山の歴史を語り継ぐ会のような認定 NPO 法人となれば税制上の優遇措置もあるので寄付金はいっそう集めやすくなると思えます。

◆書類などの提出があるため、活動が引き締まる
NPO 法人になると毎年、報告等の提出が義務付けられます。任意団体の場合どうしても馴れ合いに

◆責任性が高まる
書類提出などに加え、活動内容が公表されることもあって役員をはじめ全体の意識が高まり任意団体よりも責任をもった活動が行われると思います。

輝いていた蔵王鉱山

山神社氏子総代 村山 司

昭和二十年八月。日本は敗戦し、軍国主義から民主主義へと転換した。物資も資源も乏しく国民皆が生活に苦しんだが、知恵と工夫により世界中が驚くほどの経済が発展し「ありがとう」の精神で日本は立ち直ったのである。

日本鉱業会の中で第二位の大手硫黄鉱山であった蔵王鉱山は、戦後の日本経済の発展に大きく寄与したのであったが不幸にも坑内火災が発生し、昭和三十八年三月に閉山せざるを得なかった。もう一度蔵王鉱山に集まろう。この思いを込めて山神社の復元、全国に散った仲間二七五名が賛同してくれた。「会報」も毎年発行し絆をいっそう深めた。わたくしはいま、病床に伏している。車イスでリハビリに通っている。これが残念で残念ならない。だが



「よみがえる蔵王鉱山」を合言葉に立ち上がってくれて嬉しい、送られてくる資料は宝物のようです。近くて遠い。遠くて近い。セピア色した蔵王鉱山が見えて幸せです。

山神社「会報」から NPO 法人蔵王鉱山の歴史を語り継ぐ会機関誌「硫黄」に引き継がれたことも嬉しいですよ。



法人の設立と
機関誌の創刊を
祝う 上山市長 横戸 長兵衛

蔵王鉱山の歴史を語り継ぐ会の皆さま、NPO 法人設立、誠におめでとうございます。法人設立に際し、ごあいさつ申し上げます。

蔵王鉱山の操業は明治初期に遡り、以来我が国を代表する硫黄鉱山として事業が進められました。そのなかで戦後の復興期において鉱山に従事した多くの方々とそのご家族の生活によりもたらされた賑わいは、上山市の経済に大きく寄与するものであります。

その後、我が国の経済発展とそ

れに伴う社会経済情勢の変化の中で、蔵王鉱山の閉山と鉱山関係者の離散という激動の時節を経験され、大変なご苦労をなされたと聞いております。しかし、かつて蔵王鉱山に従事された皆さまが再びこの地に集い、蔵王鉱山の歴史を語り継ぐ会を発足され、蔵王鉱山歴史資料館の建設を計画されました。往時を偲ぶとともに、新たな観光拠点となる施設の建設を目指されている皆さまの熱い思いに深く心を動かされたところであります。建設予定地は、市民

や観光客が蔵王の豊かな自然を身近に感じられる場所であり、歴史資料館の建設は、観光かみのやまに新たな魅力を加えていただけるものと期待しております。

現在、上山市では、全国の自治体が「地方創生」に取り組む中で、上山市らしさを打ち出し、今後の諸課題に対応しながら地域振興を図るために「第7次上山市振興計画」を策定いたしました。将来都市像として「また来なくなるまち ずっと居たいまち くアオルトかみのやま」を掲げ、今後

8 年間の市政発展の羅針盤と位置付けております。この振興計画を実現するうえで最も重要なことは、市民、地域・団体、事業者と行政のそれぞれがまちづくりの担い手として積極的に実践していくことである。

この度、蔵王鉱山の歴史を語り継ぐ会が NPO 法人として組織体制を充実され、蔵王鉱山歴史資料館建設に取り組みされることは、第7次振興計画の実現に向けた先駆けとなる活動であり、皆様の行動力とご努力に深く敬意を表します。

最後となりましたが、蔵王鉱山の歴史を語り継ぐ会の皆さまのご健勝、ご多幸をご祈念申し上げ、祝辞といたします。

おもな出来事

事務局日誌から

- ◆十月十五日 「蔵王鉱山歴史資料館」建設予定地の整備作業及び敷地テープ張り
- ◆十一月十一日 ジオラマ及び秋田県鉱山資料館の視察と間山相談役との打ち合せ秋田市行
- ◆十一月二十三日 NPO 法人設立総会と蔵王鉱山山神社雪囲い
- ◆十二月十四日 上山市戦略室へ NPO 法人設立に関する申請書を提出
- ◆十二月十八日 蔵王猿倉スキー場開きナイターで開催
- ◆一月十三日 NPO 法人設立に当たっての追加資料の提出
- ◆二月十日 上山市長室において横戸市長、平吹観光課長に対し、川口会長、佐藤副会長、川口豊事務局長が面会、蔵王鉱山歴史資料館建設について支援要請。
- ◆二月十八日 建設用地の売買契約に調印
- ◆二月二十二日 NPO 法人蔵王鉱山の歴史を語り継ぐ会の法人化について市役所内に告示
- ◆三月十日 (株)ヤマコー平井社長と川口会長、川口豊事務局長面会。支援要請
- ◆三月十九日 ベテランスキー東北大会、原田正男、結城昌夫2名がチーム蔵王鉱山として出場
- ◆三月二十二日 佐藤県議と共に川口会長、川口豊事務局長、山形県細谷副知事と面会、蔵王鉱山歴史資料館建設について支援要請

あの人々この人訪問記

「オナゴ先生 金森まさ江先生の巻」

北朝鮮で教鞭を執り、その最中に敗戦。三十八度線を何んとか突破し日本へ。すすめられるままに蔵王鉱山へ。大雪の昭和21年12月14日、上山温泉の滝沢屋旅館を後にした。教え子の原田正男さんと、葉山温泉の高台に建つご自宅を訪ねてみた。

——鉱山に着いたとき、硫黄のガスや索道の音で驚いたでしょう——

金森「いやあー。ここで生きられるという安心感が先だった。引越しの手伝いに来てくれた方が荷物の少ないので驚いたようでした。」

——社宅は——

金森「長井さん、相原さん管理職の方が住んでおられた『殿様長屋』を提供され嬉しかった。」

——その頃の生徒数は——

金森「昭和21年19人でした。竹割所長さんからオルガンを寄贈され、一番先に歌ったのが『風のうた』でした。」

——学校として認知されたのは——

金森「昭和22年4月25日。中川小学校蔵王鉱山分校」として公認された。」

役員紹介

副会長 土屋健一さん

「友子制度」の名ごりををもつ元山鉱内勤務の土屋三郎氏のご長男。中川第二小学校卒、中川中学校から上山高校商業科へ。卒業後大阪へ転職、しかしふるさとへUターンし、農機具販売会。これが親ゆずりの伝統



蔵王鉱山の若竹寮で寮母をしていた「原田スイ」の息子の「正男」です。生まれ育った蔵王猿倉の山が忘れられず四十三年ぶりに埼玉から生まれ故郷の上山にUターンしてきました。

蔵王鉱山が閉山したのは、中学三年生の時でした。小学生の時、蔵王鉱山・山神社氏子総代の村山司さん達が野球の練習をしているのを見たり、球拾いをしていた影響からか、中学と高校の部活は野球部でした。地元高校に進学し、昭和四十年夏甲子園予選大会で念願の山形県代表になり、秋田高校に敗れはしたものの、当時は上高野球部が始って以来の出来事で、関係者皆様の期待に答えることが

成年部 原田 正男

ふるさとにUターン

採用試験に合格し、十八才の時に上京しました。

埼玉県の警察官として四十年勤務し定年退職後、非常勤として三年浦和警察署に勤務しました。警察勤務四十三年の間に転勤八回、転居十回ありました。警察の仕事で学んだことは

体が丈夫で健康であること
階級制度であることから人間関係のむずかしさ
忍耐、努力、我慢の勝負であり家庭より仕事優先の毎日でしたが、与えられた任務は責任をもってやりとげる誇りある仕事でした。

埼玉県は首都東京や千葉県に隣接し、山形県の人口の七倍、七百万の人口があり事件、事故が多かったことから三十歳代のころ

「こんな忙しく、せわしいところにいるより、定年になったら故郷の山形に移住しよう」と思っていたのです。

(以下次回に続く)

蔵王通信

温暖化。だからこの冬は異常気象で雪不足。気象庁が繰返し発表していた。予報が当たりヒドイ目にあった。とくに稼ぎ時の年末年始がひどかった。

三十年前に設置した人工降雪機、これが大活躍。×印の目立つ各スキー場の中で猿倉は△だった(一部滑走可能)

スキー場も手ぶらでくる時代。だからレンタルのお客さんが多い。前足からスキーをはいて下さい。ウンヌン。右足とか左足とか表言を変えろーとはベテランからの忠告。

委員長。昔むかしのなつかしい言葉をかけてくれる人がいる。首をかしげながら合っているが分らない。認知症かな?と思ったりすることが多くなってきた。

新聞の「おくやみ寛」これも滅法気になってきた。鉱山時代。ニュー蔵王山荘時代。猿倉スキー場時代。そしてよみがえる蔵王鉱山時代。生き生き市場「関商店」プレオープン。元山の故関正義さんのご長男関政徳さん。ふるさと上山への思いが強く二代目の決意をこめた挨拶文を手にした。みんな応援しよう。(四ツ谷しまる筋向かい)頑張ってる春、夏、秋、冬の四回ぐらい発行したいと思っています。



蔵王鉱山は誰のもの

その一 戦前の歴史

明治のはじめ頃から小規模な採取を行い、中丸山の腹にある通称ト口飯場までトロッコで硫黄の原鉱石を運び、そこからは木製の「こぶ」をつくり、油坂を落し製錬場まで運んだ、と伝えられている。

大正5年に、川崎肇という人が「蔵王鉱山硫黄合資会社」を買収し、資本金50万円を設立し、組織的な硫黄製産八千五百屯の硫黄生産を

明治のはじめ頃から小規模な採取を行い、中丸山の腹にある通称ト口飯場までトロッコで硫黄の原鉱石を運び、そこからは木製の「こぶ」をつくり、油坂を落し製錬場まで運んだ、と伝えられている。

【蔵王鉱山労働組合発行の密閉、及び月間上山「蔵王鉱山がなくなつて50年」の故鈴木孝助氏との対談記事を引用させていただきます。】

NPO法人 蔵王鉱山の歴史を語り継ぐ会
会長 川口兼次

蔵王山

お釜・温泉・硫黄ヤマ もう一度、世界の蔵王へ

これ以上、蔵王を「悪者にするな!」

活火山であることはいうまでもない。故に噴火

かも知れない。
(中川二小三十二年度卒)



百も承知で生きつづけてきた

否、むしろ蔵王山の大自然による「宝物」を活用し多くの人が生活し繁栄してきたと思う。わが

蔵王鉱山などはその代表格である。噴火のたびに「噴火警報」が発令されることもある。そのたびに予約客のキャンセルがあり、客足が遠のき、倒産や自主廃業などが報じられたりする。俗にいう風評被害である。

指導をうけている。山形の場合、宮城県がどうの、認定効果が薄い、だのといっている気がない。

全国に誇る蔵王温泉がある。スキー場はもちろんであるが新緑や錦秋もスバラシイ。だが最近落目だ。もう一度世界の蔵王へはばたく日を信じている。

地質、地形などを生かした大地の公園、という意味らしいが全国各地でこれらの運動が高まっている。当会の相談役である熊谷さん間山さんからも積極的にすすめるよう

シオパークの認定